

京都大学吉田南総合図書館の位置付けと役割

【位置付け】

京都大学吉田南総合図書館は、京都大学の基本理念及び京都大学図書館機構の基本理念と目標に基づき、大学院人間・環境学研究科、大学院総合生存学館、高等教育研究開発推進センター、国際高等教育院及び物質－細胞統合システム拠点の部局図書館、並びに総合人間学部所属学生及び教養・共通教育にかかわる学生を対象とする学習図書館の機能と役割を担う「吉田南構内（キャンパス）の拠点図書館」とする。

【役割】

1. 本図書館は、本学の前身たる第三高等学校等以来の蔵書を受け継ぎつつ、学習、教育、研究活動の動向を反映し、国際化、情報化等に相応しい一般図書・雑誌、参考図書、貴重図書、視聴覚資料、その他の資料（電子情報を含む。）を広く収集・保管し、提供を通じて主に上記 5 部局、総合人間学部及び教養・共通教育に係る学習、教育、研究活動を支援する。
2. 本図書館は、本学の基本理念のひとつである「多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる」を根源として、学習、教育、研究活動を支援する場の提供を行う。さらに、人々が互いに語らうことにより新たなアイデアを生み、表現することを期待する学習空間や情報発信の場の提供を行う。
3. 本図書館は、学生の学術情報リテラシーの向上を支援する。
4. 本図書館は、学内サービスのみならず、資料や施設の公開、講演や展示などを通じて地域・社会に貢献する。
5. 本図書館は、以上の役割遂行に際し、外国人の教員、学生、研究者等をも念頭に置いた適切かつスムーズな対応を行うとともに、

すべての利用者が有効かつ快適に活用できるように、図書館スタッフのスキル及びモチベーションの向上、管理・運営、及び設備、施設の充実を図る。